

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名

長崎県

学校名

川棚町立石木小学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等第1学年 国語科
第4学年 国語科
第5学年 算数科

目標・人権教育のねらい

- ・人権尊重の視点を踏まえた授業により、互いのよさを認め、共に高め合える学級・学校集団をつくり、自己肯定感や自尊感情、他者意識の育成を図る。
- ・「読解力の育成」を中心とした授業改善により、コミュニケーション能力や社交性、人間関係のよりよい構築を目指すとともに、自己肯定感や他者を思いやる気持ちを育む。

実施した内容

第1学年 国語科「のりものカードをつくろう」
ぎょせんの「やく目」「つくり」「できること」について読み取ったことを伝え合い、「のりものカード」にまとめる。(5/13時間)

第4学年 国語科「日本語の数え方について考えよう」
筆者の考えを読み取り、それに対する自分の考えをまとめて伝え合う。(4/10時間)

第5学年 算数科「面積」
三角形面積の様々な求め方について考え、説明し合う。(2/13時間)

工夫した点

- ・教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を、学年部で協働して実施した。
- ・授業構想の段階から、読解力の視点で子供のつまずきや育成したい資質・能力を考えるとともに、人権教育の視点として設定した「自己存在感を持たせる支援の工夫」、「共感的人間関係を育成する支援の工夫」を指導案に具体的に記し、授業を実施した。
- ・同じ意見に共感したり、考え方の違いを認め合ったりできるように、ICT機器を効果的に活用した。

他教科との
関連

- ・工夫した点を、国語科、算数科以外の授業においても実施しているところである。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

長崎県

学校名

川棚町立石木小学校

人権課題

高齢者

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・国語科・社会科など

目標・人権教育のねらい

- ・高齢者の人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。
- ・高齢者に対して自分たちができることを話し合い、合意形成をはかったり、意思決定したりする。
- ・高齢者に対する思いやりの心を持ち、親切にする意欲・態度を養う。

実施した内容

- ・コロナ感染症拡大防止のため社会福祉協議会及び、他機関、地域の高齢者との交流会など予定していた活動について全て実施できなかった。
- ・交流活動は実施できなかったが、地域の独居老人の方々へ敬老の日のハガキ、年賀状のハガキを書き、郵送した。
- ・登下校時、見守りボランティアへの挨拶の励行。

工夫した点

- ・少しでも喜んで貰えるよう、個人情報などに気をつけながら手書きの文書、イラストなどを工夫した。
- ・帽子を脱いでの挨拶を促すことで、目上の人（高齢者）に対する尊敬の念を表す。

他教科との
関連

- ・社会科にて、基本的人権について学習した。
- ・書写にて、相手を思いやる通信面の書き方。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

長崎県

学校名

川棚町立石木小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

5・6年生
社会科・学級活動・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・インターネットによる人権侵害について理解を深め、それらの人権侵害をなくすために自分自身が気を付けることについて考える。
- ・様々な人権侵害が、インターネットを介して起こっていることに気付く。

実施した内容

- ・5年社会科において、情報科社会に生きる私たちの課題・問題などについて理解を深める。
- ・各学年に応じた「SNSノートながさき・人権教育をすすめるために」の指導資料・事例を活用しての指導。
- ・道徳教育における、資料をもとにした人権侵害をなくすために自分ができることは何かを考えさせる指導。

工夫した点

- ・ワークショップや具体的な資料を提示しながら身近な問題、課題として捉えさせる。マイナス面だけでなく、プラス面に目を向け、意見を出させるようにする。
- ・学び合いによる対話的な深い学びが展開できるよう、学習ツールとしてのタブレットを効果的に活用した。
- ・家庭でのタブレット活用に際し、使用の際に気をつけること、やってはいけないことの確認をICT支援員と共に指導を行った。

他教科との
関連

- ・社会科「情報化社会に生きる私たち（情報モラル）」での指導。
- ・学級活動「SNSノートながさき・人権教育をすすめるために」による指導。